

あさひむら 議会だより

2018.1.31



威風堂々たる出初観開式—現役場庁舎80余年有終の美飾る



目次

- 議長新年あいさつ 2
- 12月定例会概要／常任委員会報告(総務産業) …3～4
- 議会議決事項の概要／常任委員会報告(社会文教) … 5
- 行政視察／自治功労表彰…………… 6
- 一般質問ここが知りたい ……………7～10
- 女性農業担い手協議会との懇談会／
全国町村議長大会／地方自治政策課題研修会 …11
- 議会活動日誌／村民の声／編集後記 ……12

「議会だより」第27号 発行日／2018年1月31日

発行／朝日村議会 〒390-1188 長野県東筑摩郡朝日村大字小野沢296-5 TEL 0263-99-2001(代) FAX 0263-99-2745
印刷／川越印刷株式会社 Eメール gikai@vill.asahi.nagano.jp



あけまして おめでとうございます

議長 清沢 正毅



新しい年もすでに一カ月を過ぎようとしておりますが、改めて明けてましておめでとうございます。

平成30年のお正月は雪もなく大変穏やかなお正月でありました。今年1年が村民の皆さんにとって辛多き年となりますことをご祈念申し上げます。

昨年は議会活動に温かいご支援ご協力を賜り、大変ありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

さて何度も申し上げておりますが、平成30年はエポックメイキングな年となりそうです。3月末に役場新庁舎が完成し、朝日村にとっては新時代の幕開けと言っても過言ではないかと思っております。そして開村130周

年記念イベントの展開、更には朝日村第5次総合計画後期基本計画の最終年となりますので、計画目標の完全遂行をはかるとともに今までの活動をしっかりと総括し、次期総合ビジョン策定に活かして行かなければならない年であります。

議会といたしましては、新役場庁舎において新しい歴史の第一歩にふさわしい議会運営に取り組むべく、村民の皆さんの声に広く耳を傾け、議会に課せられた団体意思の決定及び執行機関の監視、そして議案審議と政策提言及び行財政の監視と言った使命の遂行に、更に力を注いで参る所存であります。

そして今年度は、私たち議員にとっては任期最終の年度であります。最近全国町村議連会や県の町村議長会等においても、地方議会の議員なり手不足から、議会活動の存続が危ぶまれるところと言った課題が取りざたされており、村民の皆さんも新聞等で関連記事をご覧になった方も多いのではないかと思います。

ます。

県内においても議会離れを回避すべく、議会への関心を高めようと、休日議会や平日時間外に議会活動を試みて、議員活動がやり易い環境づくりや、議会活動への理解を深めてもらおうと言う動きが出てきております。事実東筑の仲間の議会でも議員定数が欠員のままの議会もあります。

私たち議員といたしまして、残された任期期間においてこうした事実を真摯に受け止め、朝日村議会の存続と更なる活性化に向けた基盤づくりのための議論を深めていかなければならないと、決意を新たにしているところであります。

新年を迎え議員一同一段と気を引き締め、こうした重要課題に対し、強い意志をもって議会活動に取組んで参りますので、引き続き村民の皆さんの一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



議会の議決事項の概要

議案審議の焦点

～ご意見・要望は下記議会事務局まで～
E-mail gikai@vill.asahi.nagano.jp

朝日村議会12月定例会が平成29年12月7日より12月19日まで開かれました。(13日間)
今定例会の議案は専決処分1件、条例4件財産の取得1件、村道路線の廃止1件、予算7件、朝日村固定資産評価委員会委員の選任1件、意見書2件の計17件でした。

平成29年朝日村議会

12月定例会

(平成29年12月)

- ◆議案第52号
 - 専決処分の承認を求めることについて
 - 平成29年朝日村一般会計歳入歳出(第3号)について
 - 歳入歳出予算のそれぞれに379万を追加し歳入歳出それぞれ43億163万とする。
 - 衆議院議員総選挙費として379万円。
- ◆議案第53号
 - (全員賛成可決)
 - 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について
 - (全員賛成可決)
- ◆議案第54号
 - (全員賛成可決)
 - 特別職の職員で常勤の者の給与等に関する条例の一部を改正する条例について
 - (全員賛成可決)
- ◆議案第55号
 - (全員賛成可決)
 - 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
 - (全員賛成可決)
 - 議案第53号から議案第55号までの改正は8月8日の人事院勧告を踏まえ当村の関係条例を改正したものである。
- ◆議案第56号
 - (全員賛成可決)
 - 朝日村国民健康保険条例の一部を改正する条例について
 - (全員賛成可決)
- ◆議案第57号
 - (全員賛成可決)
 - 財産の取得について
 - 一、取得する財産はジュース加工機器
 - 二、取得価格は939万6千円(税込)
 - 三、契約の相手方は信越厨房(株)
 - 四、取得の目的は針尾加工所で農産加工に使用する為
- ◆議案第58号
 - (全員賛成可決)
 - 村道路線の廃止について
 - 古見地区の大原22号線と大原46号線の一部を廃止にする。
- ◆議案第59号
 - (全員賛成可決)
 - 平成29年度朝日村一般会計補正予算(第4号)について
 - 歳入歳出それぞれ1億2513万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ44億2677万円とする。
 - 主な項目は財政調整基金費9210万円林業施設災害復旧費2061万円他
 - (全員賛成可決)
- ◆議案第60号
 - (全員賛成可決)
 - 平成29年度朝日村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
 - 歳入歳出それぞれ438万円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億8199万円とする。
 - (全員賛成可決)
- ◆議案第61号
 - (全員賛成可決)
 - 平成29年朝日村介護保険特別会計補正予算(第3号)について
 - 歳入歳出それぞれ218万円を追加し歳入歳出予算の総額をそれぞれ5億559万円とする。
 - (全員賛成可決)

◆議案第62号

○平成29年後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について

歳入歳出それぞれ11万円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ4955万円とする。
(全員賛成可決)

◆議案第63号

○平成29年度朝日村簡易水道特別会計補正予算(第1号)について

歳入歳出それぞれ88万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1億5078万円とする。
(全員賛成可決)

◆議案第64号

○平成29年度朝日村下水道特別会計補正予算(第3号)について

歳入歳出それぞれ69万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億1905万円とする。
(全員賛成可決)

◆議案第65号

○平成29年あさひプライムスキー場特別会計補正予算(第3号)について

歳入歳出の総額は増減なし。

一般会計繰入金を繰越金に財源振替した。
(全員賛成可決)

◆追加付議事件

◆議案第66号

○朝日村固定資産評価審査委員会委員の選任について

新たに3名の方を選任するに議会の同意を求める。

①柳沢俊作氏(上組) ②清水正美氏(下組) ③山岸道浩氏(南上) 任期は平成29年12月25日から平成32年12月24日(3年間)
(全員賛成可決)

◆発議第9号

○「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書について
(全員賛成可決)

◆発議第10号

○若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書について
(全員賛成可決)

◆閉会中の継続調査の申し出について
(全員賛成可決)

●事件

●議会運営委員会

①議会運営委員会の所管事

務に関する事件

②議長の諮問に関する事件

●総務産業常任委員会

①総務産業常任委員会の所管事務に関する事件

●社会文教常任委員会

①社会文教常任委員会の所管事務に関する事件

●期限

●次期定例会開催まで



(12月定例会)

総務産業常任委員会報告

12月定例会には、総務産業関係として3件の陳情がありました。1件目は建築物の設計・工事監理業務の発注の際、業務報酬が新しい基準に準拠した契約となるよう求めるもの。2件目は、建築物の設計・工事監理業務を入札により発注する場合は、最低制限価格の設定と設定は発注予定額の90%以上とする事への依頼。3件目は、公共建築物等の耐震診断・耐震改修を早期に推進する事への要望です。

委員会を12月12日に開催し、陳情者からの説明を受け、慎重に審査した結果、3件とも採択となりました。当村として今後とも履行されることが望ましく、村当局に陳情書の趣旨を十分理解いただき検討をお願いしました。

(委員長 小林弘幸)

議会の議決事項の概要

○賛成 ●反対 一不参加（議長は議決に参加しない）

議案番号	議案の内容	議決結果	高橋	中村	上條	齊藤	上條	北村	小林	塩原	林	清沢
			廣美	賢郎	俊策	勝則	昭三	直樹	弘幸	智恵美	邦宏	正毅
〈平成29年朝日村議会12月定例会〉 〈付議事件〉												
52	専決処分の承認を求める 平成29年度朝日村一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
53	議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
54	特別職の職員で常勤の者等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
55	一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
56	朝日村国民健康保険の一部を改正する条例	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
57	財産の取得	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
58	村道路線の廃止	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
59	平成29年度朝日村一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
60	平成29年度朝日村国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
61	平成29年度朝日村介護保険会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
62	平成29年度朝日村後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
63	平成29年度朝日村簡易水道特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
64	平成29年度下水道特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
65	平成29年度あさひプライムスキー場事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
〈追加付議事件〉												
66	朝日村固定資産評価委員会委員の選任	可決	○	○	○			○	○	○	○	—
発議9	「介護従事者の勤務環境改善及処遇改善の実現」を求める意見書	採択	○	○	○			○	○	○	○	—
発議10	若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書	採択	○	○	○			○	○	○	○	—

社会文教常任委員会報告

委員会は去る12月12日に開催し陳情2件・要望1件を慎重に審査した結果3件とも全て全会一致で「採択」となりました。

主な審査経過を申し上げますと、陳情第10号・介護労働者の労働環境改善及び処遇改善の実現を求める陳情は、介護労働者の賃金が他の職種の賃金と比較すると相当以上に低額であること。夜間勤務体制が、一人では無理があること等の説明がなされ、改善策のひとつとして、国の負担による介護報酬の引き上げが必要であるとの結論に達した。

陳情第11号・「若い人も高齢者も安心できる年金制度を求める意見書」の採択を求める陳情は、年金の改定方式が物価スライドでなくマクロ経済スライドであるため、実質的に目減りしていること、年金支給開始年齢が更に引き上げられようとしていること、など年金受給者の生活が圧迫され、年金を支えている世代においても将来設計に不安があること等の説明がされ、審査の結果、制度改善が必要であるとの結論に達しました。

要望第1号、「ニッポン1億総活躍プラン」を地域社会で実践するするシルバー人材センターの決意と支援の要望は、シルバー人材センターが、勤労意欲のある高齢者の居場所と活動の場作り、かつ地域社会に貢献していることは大変素晴らしいことであり、国・行政が支える仕組みは妥当性があり、補助金の継続が必要であるとの結論になりました。

12月19日の本会議におきましても全会一致で「採択」されました。

2件の陳情の意見書はそれぞれ関係省庁へ提出されました。

（委員長 林 邦宏）

名古屋税関・国際輸送青果センター及び南木曾町災害復旧・防災体制 行政視察報告

朝日議会行政視察報告11月13・14日の2日間にかけて名古屋税関及び国際輸送青果センターと、土石流災害が発生した南木曾町へ復興防災体制の視察へ行って参りました。名古屋税関は愛知県を中心に隣接県5県を管理しており、近年の国際化が進む中、日本国民の生活の安全・安心を最重要と位置づけ、日本の課税収入の一部である関税・消費税の徴収を行っております。農産物の中でレタスは主に台湾へ、キャベツ等は香港・シンガポールへ輸出されており



(名古屋税関で説明を受ける)



(南木曾町災害復旧現場)

ます。現在は（EPA・経済連携協定）を結び低い関税を適用し多くの物品で関税負担を軽減している現状を知りました。食は生命の源。その安全を今後も願うばかりであります。南木曾町では3年程前に大規模な土石流が発生し、死者1名・負傷者3名を出す悲惨な災害に見舞われました。南木曾町では災害をきっかけにハード面では治山・砂防えん堤等の強化を図り、ソフト面では地区に防災マップを配布し地域住民による危険区域の確認、また住民の安

否確認の仕組み作りに取り組んでおりました。今回の視察で得た知識を議員全員がしっかりと心に刻み、今後の朝日村に役立っていこうと思えました。

(北村直樹)

建築中の新庁舎 行政視察報告

12月19日、雪の舞う中、建築中の新庁舎を視察しました。工事の進捗状況は約55%で計画どおりに進んでいます。村民から寄付された大黒柱は2本村民交流ホールに建設され、また柱の台座にもやはり村民から寄付された大きな石が使われており、みごとなシンボルとなっております。内装は主として村民か



(全体が見えてきた新庁舎)

ら寄付されたけやき、くり、すぎ、カラマツなどをツキ板工法で0.3ミリの板にして部屋ごとに使い分け特徴をもたせています。また外壁はカラマツの板が、窓枠も特性の木製サッシが使われており、地域と風景をつなぐ庁舎となっていると感じました。

(上條昭三)

自治功労表彰



中村賢郎議員 (十年)

平成29年10月25日開催の長野県町村議会議長会定期総会において、平成19年から現在まで、朝日村議会議員として村の自治発展のために永年ご尽力されたとして受章され、同年12月7日開催の議会全員協議会において、清沢正毅議長より表彰状が伝達されました。

(事務局)

一般質問

ここが知りたい



県道中組バイパス工事の予定は

中村 賢郎 議員

〔産業振興課長〕 二期分として350mの予定

問 現在工事は中断しているようですが、今年の七月までに123m余りの工事が行われました。延長810mの工事の今後の予定と工事説明会の開催予定の有無について聞きました。又、土合三叉路について、交差点に在る私有地の処置について確認を致しました。

産業振興課長 二期分の予定は350mを今年度内に発注予定であるが、時期的に難しい場合平成30年度になる事も考えられる。又、説明会はその都度予定される。次に三叉路については当初より改良が予定されておりバイパス工事終了後行われると考えている。

内山沢整備について

問 除沢橋から鎖川の間の内山沢の整備を、平成30年度の事業として行うようですが、整備内容についてお聞きします。

村長 除沢橋の下流の左側に赤線の道路があるが、一部崩落部分があ



(中組バイパス)

り、車の運行が出来ないので改修をする。又、右側の土手の樹木が非常に大きくなり、崩落の危険がある為、土手が崩れない程度に樹木の伐採を予定する。



新設予定道路について

上條 俊策 議員

〔産業振興課長〕 計画をもって実現したい

問 計画されている3道路について、進捗状況は。

産業振興課長 ①新庁舎南へ公民館側道路は、30年秋から工事開始、31年度完成予定で、事業費は総額2億円程を見込んでいます。

②農協の選果場の所の村道払下げはその後検討。

③東電道路の歩道等改修工事は、財源検討中で、結果により事業化する。

④向陽台団地からの村道は、地権者との交渉段階で、完成までの予定が未定。

マイナンバー制度について

問 マイナンバー制度の現況は

住民福祉課長 カード発行数が問題。マイナンバーカードの発行件数は209枚で村人口の4.5パーセント、県の8.3パーセントに比較すると、低い状況であり、コンビニ交付サービス等採用するにも、5年で5千万から7千万程経費も掛かる事から費用対効果を考えた場合、もっとカード発行数を上げてゆく必要がある。住民の利便性向上の為に、カード発行数を上げてサービス向上を図ってゆきたい。

マイナンバー制度の現況は



(新庁舎南側の村道大原63号線)



縁結び報奨金の支給を提案いたします

上條 昭三議員

「住民福祉課長」 村として検討する

問 商工会の会員が新事業として出張してその場で料理を提供したり、ホテル並みの高級料理をお届けしたりする「ケータリングやグランピング」を計画しております。この事業はコテージやキャンプ場などに料理提供を目指すもので、利用客の希望する夕食などを提供することにより利用率の伸び悩む各施設の活用が大きく貢献するものと考えられます。旧おひさま保育園をコミュニティセンターに改修時に一部をこの事業に使用させてもらいたいという提案が商工会からされていますが。

答 旧おひさま保育園は改修する時期も未定なのでこの事業に貸与することは難しい、他の場所を考えたほうが良いのではないかと。

問 村で独身者用賃貸住宅として個室以外の台所や浴室など共有するシェアハウスを作って貸し出せな

答 村としてシェアハウスの計画は無いが民の計画に期待する。

問 未婚対策として結婚を取り持った人に出す縁結び報奨金の支給を提案します。

答 しあわせ信州・朝日の婚活の尽力に対し感謝する。今後村として検討する。



(縁結びで幸せなカップル)



観光施設(コテージ・緑のコロシアム)の指定管理について

北村 直樹議員

「産業振興課長」 より良い指定管理者を選定していく

問 朝日村内の観光施設(コテージ・緑のコロシアム等)の指定管理契約が来年の三月三十一日で契約満了となる。五年間に渡る契約であった。その活動実績及び来年の契約事項について、当局の評価と更新にあたっての考えを伺いたい。

答 緑のコロシアムについては冬季の間はそりゲレンデとして。夏季はバーベキュー施設として活用してきた。指定管理者独自のイベントはない。今後の契約については各施設の募集要項を定めより良い指定管理者を選定していく。

◆朝日村産の米をもっと全国へ知って貰おう企画・検討研究してみては?

問 村では中山間総合整備事業や観光協会の設置・アグリビジネスの設置等農業分野に力を注いでいる。このタイミングで朝日村の米について研究し将来ブランド米で販売することは検討できないだろうか?

答 米の分析は当村の米を知る上で必要であると考えますが、生産量の観点よりブランド化は難しいと考える。米作りは今後意欲的な、個人農家や法人企業があらば積極的に耕作して頂き、村内の良質米を作って頂く事を願う。

(朝日村産米のPR動画・画像をウェブサイトで紹介)



サラリーマン福祉の検討余地は

小林 弘幸 議員

〔村長〕 出産祝金・保育料無料・坪4万円がまさにサラリーマン福祉だ

問1 新規就農者・若者向けの住宅として、近代的なアパートも必要である。

村長 今は戸建ての時代、国の補助は50%しかなく村の財政は厳しくなる。これから増える空き家住宅を

改修し、安心して住める住環境を整える事に力を入れたい。

問2 村民が集える新庁舎の活用について、具体的な青写真は描けたか。道の駅的な活用は出来ないか。

総務課長 村民交流ホールが施設の主な特徴であり、ワークショップを開催し利活用を検討してきた。多くの意見を参考に村民が自由に利用できる公共施設として条例を整備する。

問3 村民の60%が村外に通勤している。遠距離である事を逆手にガソリン代補助の様な福祉施策は取れないか。

村長 坪4万円の土地代



(村営旭ヶ丘住宅)

は松本と比べて坪16万円の差がある。しかも、子育てがしやすい出産祝金・保育料は無料・18歳まで医療費は無料。まさに、サラリーマン福祉と思う。



朝日村観光協会の目指す姿は

塩原智恵美 議員

〔村長〕 小さな味のある観光目指す

問 12月1日村観光協会（地方創生事業）が発足した。協会の業務や体制・目指す姿をどうするか。又村の計画では協会設立前に定款を作成する予定だったができなかった。今後の用途は。

村長 国・県の動きの中で人口減少対策として村の体力に合った、味のある観光を目指す。定款は観光協会会長と相談しながら対応する。

産業振興課長 協会の体制は当面、村職員など4名。事業は村の資源を生かした滞在型体験プログラムの構築と試行。

問 村観光協会設立の主旨は国の進めるDMOと一致した考えとみる。成功のポイントは何か。人材確保の考えは。又民泊法が平成30年6月施行。導入の考えは。

村長 人材は欠かせない。しばらく時間かかる。

産業振興課長 民泊導入は村民や議会の意見聞く中検討したい。

◆総合審議会の改善を

村長 改善点は十分聞く

問 村長公約として設置した総合審

議会は、村を良くしようというモチベーションの高い組織である。仕事は地方創生事業の検証と村長公約の答申。いづれも重要な任務であるが、委員から会議の位置づけがわからないという意見が多く出されている。会議のあり方について改善点はないか。こうした中で答申書が出されるがその扱いはどうするか。

村長 審議会の課題は十分聞いて担当に周知する。答申は見てから判断する。



(役場入口に設置した観光協会看板)



ゲストハウス建設計画は更なる熟慮を

林 邦宏 議員

「産業振興課長」 コテージは目的以外の使用はできない

使用はできない

問 地球温暖化に伴う気象現象は想定外の事象ばかりで、突如の長時間の集中豪雨での豪雨災害の発生、そんな気象環境下ではこれらのリスク回避された場所でゲストハウス事業を展開するのが基本事項です。計画地の古民家の宅地の一部が県で指定している、土砂災害危険特別区域に掛かる場所を候補地とし、原資を全額税金で賄う公共事業は安心・安全が担保出来るのでしょうか？、安全性はどなたが担保するのですか。費用対効果が発揮されず利用度が低迷しているプライムスキーマ場のコテージの有効活用を図るゲストハウス事業化構想は如何ですか。

産業振興課長 土砂災害危険区域に対する安全確保は、県での事業対応があるので、県に安全対策を要望していく、ソフト面での安全対策は御馬越地区での災害危険性を踏まえ地区民と避難体制などのマニュアル整備で



(ゲストハウス予定地)

(手前の看板は予定地の敷地の隣接地に設置してある看板を撮影し合成して組み入れてあります。)

安心安全を確保していく。

問 設置場所や新設建物の予算計上は提示されているが、肝心の事業計画が提示されていない。

産業振興課長 建設場所が確定してから詳細な事業計画の提示となる。



観光協会の運営は現体制で問題は無い

高橋 廣美 議員

「産業振興課長」 通常業務に支障なく

運営できる見込みである

問 事務局を役場庁舎内に置くことで通常業務に支障は無いか。

答 地方創生事業の中でコンサル業者を交え、さらに今後観光に特化した地域おこし協力隊の採用の予定であり支障はない。

問 朝日村の観光資源である自然、農業が売りになるので、その分野に熟知したスタッフが必要ではないか。

答 村内の、それぞれに熟知した人たちに協力を仰ぐ。

問 運営費はどうするか。

答 当面の財源は村からの支出でまかなう。

◆新森林税への取組

問 県の新しい森林税に対して当村はどう取り組むか。

答 平成二十八年の雨水被害を初め、従来の森林税でかなりの面積の実績がある。



(里山森林整備)

今後は未整備地区や難しい地区においては、新森林税での対応と所
有者との協議を深め事業の進捗を図りたい。

女性農業者担い手協議会との懇談会報告

11月17日

議会総務産業常任委員会は女性農業者担い手協議会との懇談会を中央公民館で開いた。議会では昨年



(楽市楽座で出店するメンバー)

の開催となったが、担い手協議会は年間事業計画の中に位置づけてあり、こうした直接対話の機会がありがたいことである。懇談会は議会から当面する村の事業について説明し意見交換を中心とした。女性の出席は14名で皆さん農業を担っている事から農業への課題意識が高く積極的な発言が多く出された。特に農地の貸借やI・Uターンの居住対策、特産品を考える会の10年以上かけて築いた商品はどうなるのか等、身近で起きている事象に貴重な意見や思いを伺うことができた。私ども議会はこうした場を通して村民の視点に立つ課題の掘り起こしや、学びの重要性に気づかされる。今回も一般質問の題材にした議員もある中で、今後も双方向の対話を大切にしたい。

総務産業常任委員会 塩原智恵美

11月22日全国町村議長大会 報告

去る11月22日に第61回町村議長会議長全国大会がNHKホールにて開催されました。

来賓には残念ながら安部総理は出席されませんでした。衆議院議長、参議院議長、地方創生大臣他関係する多くの国会議員のご臨席のもとに全国から928町村の議長さんが参加され盛大に開催されました。私たちも東筑議会議長会として5村の議長さんと一緒に参加いたしました。

大会では「地方創生の実現をめざして」をテーマに全国町村議長会が一致団結して、本格的な災害復旧・復興を加速化させるとともに、人口減少の克服と地方創生を実現させるために、町村の自治能力を高め都市と農山漁村が「共生」しうる社会づくりを果敢に行動していくことを全会一致で決議されました。

大会終了後は「地方自治を誇り豊かに」と題して元総務大臣の増田寛也氏の特別講演がありました。地元の現状に即した泥臭さがなくあまりにも綺麗ごとでしたので、私

としては今一つ受け入れがたい内容でした。

そして、東筑議長会としてはもう一つの目的として、この上京を機会に衆参両議院会館に伺い、地元国会議員の務台俊介、太田昌孝、下条みつ衆議院議員と吉田博美、杉尾秀哉、羽田雄一郎参議院議員の先生方にお目にかかり、東筑5村の国への陳情書をお渡しさせていただきました。ちなみに朝日村の陳情内容は「中組バイパスの早期実現」であります。(清沢 正毅)



(全国大会式典)

第13回長野県地方自治政策課題研修会に参加して

去る11月9日県庁において長野県地方自治政策課題研修会が開催され当村議員全員が参加した。冒頭、県議会総合5か年計画研究会会長の本郷一彦氏の講演から始まった。内容は「次期長野県総合5か年計画に係る県議会の取り組みについて」で現行の総合5か年計画の基本目標である「確かな暮らしが営まれる信州」を継承し、さらに「学びと自治の力で拓く新時代」が副題として加わったという内容の講演であった。

次に新年度開校予定の長野県立大学の「地域とともに歩み始める長野県立大学」という演題で、学長予定者の金田一真澄氏、グロバルマネイジメント学部長予定者の森本博行氏、教授予定者の田村秀氏が新大学の特徴、大学の理念等を熱く語った。中でも金田一教授は祖父が金田一京助、父が金田一晴彦という名門の出であり、この大学に寄せるあつい情熱を感じた。

大学の特徴は、一年次全寮制、二年次全員参加の海外プログラム等長野県に軸足を置きながらグローバルな視点で物が考えられる人材育成を考えているという点です。今後この大学は大きな脚光を浴びそうです。(高橋廣美)



(研修会場)

村民の 声

百周年記念大会に参加して

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

民生委員制度は貧困者への支援活動として、大正六年岡山県で創設された濟世顧問制度に始まり翌年大阪府で創設された方面委員制度が全国に広がり、昭和二十一年に民生委員制度と改められ、昨年百周年の節目を迎え、百周年を記念する全国民生児童委員大会が七月に全国からおよそ一万人が参加をして、東京ビックサイトを会場に、天皇、皇后両陛下のご臨席を賜り、記念式典が開催されました。

全国民児連会長が祝辞において「全国の民生児童委員の力を結集し、誰もが笑顔で安全に安心して生活ができる地域づくりに向けて新たな歴史の一步を踏み出して欲しい」と述べられ、続いて塩崎泰久厚生労働大臣、小池百合子東京都知事から挨拶があり、それぞれに民生児童委員の長年にわたる活動への感謝と今後へのさらなる期待が述べられました。

記念大会に於いて、改めて民生児童委員の必要性和、この歴史は一人ひとりの活動の積み重ねで有ると感じました。これからも身近な相談相手となり、関係行政への支援のつなぎ役として活動が続けてまいります、「困りごと」がありましたらお近くの民生児童委員に相談して見て下さい。

民生児童委員長 齊藤 朝義氏



齊藤 朝義氏

編集後記

新年を迎えて一ヶ月が過ぎ様としております。

平成三十年は当朝日村に於いて大変大きな節目の年となります。

一つは、長年の村の大きな課題であった新庁舎が、この四月には完成予定となり今建設工事が急ピッチで行われております。五月連休明け頃には新庁舎での業務が開始される予定です。

次に、朝日村発足130周年の記念行事が一年間を通して開催されます。現在、記念事業企画推進委員会を中心として、内容について検討を続けています。

村民の皆様のご要望・ご意見をお願い申し上げます。
(中村賢郎)

発行責任者

議長 清沢 正毅

編集委員

委員長 中村 賢郎

副委員長 北村 直樹

委員 高橋 廣美

上條 俊策

齊藤 勝則

写真担当 林 邦宏



議会活動日誌

10月	活動内容
4	☾ 議会だより編集委員会
6	☾ 松塩地区広域施設組合議会運営委員会
8	☀ 朝日村体育祭
11	☾ 議会全協 (9:00 健康C) 議会だより初校
17	☾ 議会だより編集委員会
24	☾ 生活支援協議体会議
25	☾ 町村議長会第25回定期総会 開村130周年事業推進企画委員会
26	☾ 例月出納検査 随時監査
27	☾ 松塩地区広域施設組合議会10月定例会
29	☀ 村民ゴルフ大会表彰式
31	☾ 議会だより第26号発行
11月	活動内容
1	☾ 全国町村監査委員研修会 (2日まで)
3	☀ 文化祭開祭式
4	☀ 表彰式 社会福祉大会 文化講演会
6	☾ 東筑摩郡議長会県要望・県議会陳情
7	☾ 松塩筑木曾老人福祉施設組合議会11月定例会・全協
8	☾ 議会全員協議会
9	☾ 松塩地区広域施設組合環境保全協議会視察(10日まで) 村内行政視察/地方自治政策課題研修会
10	☾ シルバー人材センター陳情来庁
13	☾ 議会行政視察(愛知・木曾方面、14日まで)
15	☾ 定期監査 (15・16・17・24日)
17	☾ 開村130周年記念事業推進企画委員会 女性農業担い手協議会との懇談会
20	☾ 松本広域連合議会11月定例会 社会福祉協議会監査
21	☾ 鉢盛中学校組合議会11月定例会本会議
22	☾ 町村議会議長全国大会・東筑摩郡村議会議長会国会議員要望
27	☾ 定期監査結果報告会/議会運営委員会
28	☾ 例月出納検査
30	☾ 新庁舎建設委員会
12月	活動内容
1	☾ 観光協会発足式/土地開発公社理事会 朝日村障害者福祉計画推進委員会
7	☾ 村議会12月定例会・全員協議会
11	☾ 西洗馬区・議会懇談会
12	☾ 村議会12月定例会常任委員会 全協
15	☾ 村議会12月定例会一般質問
16	☀ アイススケート場安全祈願
19	☾ 村議会12月定例会・全協 行政視察
26	☾ 例月出納検査 随時監査